

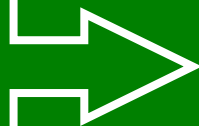
特別支援教育と作業療法の展開

平成21年度パイロット事業実践報告

-広島県作業療法士会-

背景

養護学校



特別支援学校



「特別支援学校」に変わって
・・・児童・生徒の障害の重複化、多様化

福祉



先生
児童・生徒



医療

より一層の連携が求められている

広島県では

特別支援学校 23校

平成17年度～
OTが 特別非常勤講師に！

特別非常勤講師？

- ・療育手帳を持つ児童/生徒に対し、年1時間×3回
（高等部には手帳を持たない生徒もあり、対象外となる）
（理学療法士は、身体障害手帳を持つ生徒のみ対象）
- ・教員に作業療法の立場から、介入を指導
（教員免許がないため、児童/生徒の指導ができない）
- ・参加する授業科目はさまざま



でも・・・

- ・共通のシステムがない
- ・その役割を担えるOTが足りない
- ・先生たちもOTが何者かをよく知らない
- ・病院でのOTのように評価や介入ができない



手探りで実践
新人も現場へ
先生とのやりとりがうまくいかない...



OTの悩み...

情報を見せて
もらえない

その後
どうなった
の??

嫌がられてる?
迷惑?



その場にモノが
ないし

授業を見るだ
けじゃわから
ないよ

先生とお話が
できればなあ

先生の気持ち

OTって何者？

何聞けば
いいの？

別に困ってない



話を聞くだけなの？

代わりにしてくれ
るんじゃないの？

そんなこと言われ
てもできないよ

OTスパイス

特別支援学校を支援するOTの会
教員やPT, 看護師なども参加



まず、困りごと、悩みを相談しよう

ケース相談や評価・手法の勉強

全員のスキルアップ！



OTを知ってもらって、活用してもらいたい

短時間でも、もっと役立ちたい！

本事業の目的

・OTによる特別支援学校支援をより円滑に効果的にするために

①特別支援学校支援の広報活動

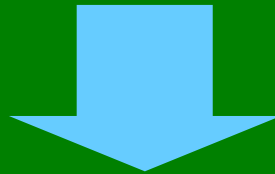
一般向けリーフレットの作成

「わたしたちの学校にOTがやってきた」

②特別支援学校支援の知識や技術の共有と向上

OT向けハンドブックの作成

「聞かせて！効かせて！OTスパイス」



作業療法（医療・福祉）と教育の連携を強固にする
発達障害（広義）を持つ子どもとその家族のサポートを充実させる

方法

スパイス

- ・話し合い
- ・情報収集
- ・原稿作成

OT利用者さん

- ・イラスト作成
- ・構成

授産施設

- ・印刷

リーフレット



3000部

学校
病院
療育施設
OT
保護者
区役所

ハンドブック



1000部

学校支援者
OT
スパイス

リーフレット

OTのイメージ、存在を知ってもらおう

作業療法士が学校にやってきた！

私たち作業療法士（OT）は、平成17年度より始まった広島県の「教育と医療・福祉機関との連携事業」に特別非常勤講師として参加し、特別支援学校の児童・生徒を、医療的側面から支援しています。

支援の対象となる児童・生徒の授業に、年3時間ずつ（平成21年度現在）参加し、授業の観察や先生との意見交換をもとに、支援方法の実演や使いやすい道具の提案などを行っています。

また、より充実した支援を行うため、特別支援学校を支援するOTが集まり「OTスバイス」という会を結成しました。現在では理学療法士、看護師、教師らも加わり、情報交換や支援内容の検討によって、支援の質を高めています。

「子どもが困るとるんじゃけど…」
「どうしたらええんかねえ」

そんな時には、生活に「作業療法」という名のスバイスをひとさじ加えてみてはいかがですか？作業療法があなたや子どもたちのお役に立てるに違いありません。

作業療法が子どものためにできること

私たちOTは、学校のほかに、病院や療育センターなどにおいて、遊びを中心とした活動を通して、発達に心配事のある子どもの「できること」を引き出し、伸ばすお手伝いをしています。

まず、検査や聞き取り、行動の観察などから、困りごとの原因を探ります。次に、自立に向けて将来の生活を見据えた上で、取り組むべき課題と目標を決め、治療や支援の内容を計画します。

主に、運動や感覚の発達を促す遊び、使いやすい道具の選択、身体動作の練習、環境の設定などを行います。

治療と支援にあたっては、子どもだけでなく、ご家族を中心に、学校や地域、その他の関連する機関と連携して進めます。

？ 生活に抱える「どうすればいいの？」を…

おでかけの準備

- 洋服の前を間違えてしまいます。
- トイレでお尻が拭けないだけで…

勉強の時間

- 筆圧が強すぎて字が読めずたりします。
- つまみ数が数えられなくて…
- すぐに席を立ってしまっ、全然座ってられません！

お昼ごはん

- スプーンでご飯を食べたい。
- コップでお茶を飲むのが難しいです。

活動の時間

- ハサミや道具が上手に使えたらなあ。
- 道具を怖がるけど、どうしたら楽しめる？
- 動きがぎこちなくて大変そう…
- 何か弾ける楽器がないかなあ。
- よい工夫ありますか？

おうちに帰って

- おうちでもできることってある？
- 楽しめる遊びって、ないかなあ

他にも、

- 体が硬い子のストレッチはどうすればいいの？
- この子が使いやすいスイッチを教えてください！
- 友達に乱暴な関わりばかりするのだけど…
- もっとコミュニケーションを取りたい！
- 社会人になる力をつけたいのですが…

…など

✓ 作業療法を使って解決！

子ども

先生

OT

これは、ほんの一例です。何でも相談してみてください！

具体的な例

広島県士会HPより
ダウンロード可能です。
是非ご活用ください。

<http://www.urban.ne.jp/home/hota/otwatch.html>

ハンドブック

スキルアップ、仲間を増やす

定して握れるようになり、運筆が安定した。

PILOT ゲルマーカー

インターネットで購入
リハビリ用品取扱
カー（パイロット）
入
ブや文房具店など
や病院・施設のC
一段ボールでの作
舞台で活躍、やっ

Mさん
ははさみを握りこんで、刃
斜面台が無かったので、教
サミの位置を調整した。上肢が安定するように、肘
Mさんがハサミを押して切り、楽しめた。後日斜
付きハサミがつけられていた

魔法の牛乳パックはがし
て、Nさんにもできる作業を
さん
ち、どうにか牛乳パックのラミ
ミネートををはがしていた。N

TIME TIMER

アクリルペン・ナノペン
¥6,200

で握っているため、つまみ操作が難しく時間がかかっていた。
スプーンが実用的だが、かき込んでガツガツ食べるので、体重管理のために時間のか
かる箸にしたとのことだった。先生が繰り返し声をかけると、Oくんは集中し正し
いつまみ操作ができることもあった。

【介 入】箸のつまみが成功しやすいように、楽々箸ピンセットタイプを勧めた。つま
んで食べている時は、先生にほめてもらった。また、回外位を保てるように、コイン
を拾ってお皿にした手の中に集めるなど、授業中にできる課題を提案した。

【結 果】Oくんは箸の操作が上手になり、つまみの操作で食べていることが多くなっ
た。先生に褒められ、介入前よりも食事に集中するようになった。

(注) 食事に関する便利グッズ

- ・不器用な子に：エジソンの箸、楽々リ
アフリー箸、はしパンツ（手持ちの
ザラスなどで購入
- ・握りが弱い子に：柄を太くするスポ
東急ハンズなどで購入
- ・お皿を支えない子に：滑り止めマッ
- ・食べやすい食材や食器の工夫、落ち着
勢）の調整、摂食機能の評価も必要
ります！

便利なインターネットでの購入の一例
福祉機器やVOCA

- ・バシフィックサプライ株式会社 <http://www.p-supply.co.jp/>
- おもちゃ
- ・プレイフルネスマテリアルズ <http://dacapo123.com/toy/>
- ・iwant <http://www.i-want.co.jp>

支援グッズ

- ・おめめどう <http://omemedo.ocnk.net/>

ブランド: プチエ
製造販売元 台
参考小売価格: ¥73
当社販売価格: ¥68
商品番号: E062706
通常1〜2日以内に
まだレビ
全すく
レビ
Englis
JAN

カラー: ブルー
サイズ(外装): 幅60*高さ230(mm)

作業療法士のための特別支援学校ハンドブック

一聞かせて！効かせて！OTスパイス



広島県作業療法士会
OTスパイス編

・校内で持ち歩ける薄さ
・自分で作るノートタイプ
ペンで書き込める
調べて、貼って

特別支援学校ってどんなところ？

⇒どんなこどもがいるの？

⇒どんな授業をしているの？

特別支援学校で使える基礎知識

⇒障害や疾患の説明

⇒評価や道具などの説明

情報収集のポイント

⇒限られた条件での評価方法

⇒評価用紙の例

⇒先生との連絡票の例

OTスパイス体験記

⇒学校での支援の流れがわかるストーリー

OTからの反応

- ・事例集が参考になった
- ・使える道具の知識が広がった
- ・評価用紙が参考になった
- ・自分が学校に行き始めた時にこれがあったら、
もっとやりやすく、効果的な支援ができた
- ・学校連携の参考にできる
- ・先生への説明のしかたの配慮点がわかった
- ・患者さん(こども)の学校の先生に渡している

OTからの反応

第44回OT学会では、

⇒100部の配布が1分ほどでなくなった

⇒ポスター会場では、「発達を専門としないOT」が主に
ハンドブックを求めた
「ウチの病院でも、こどもを受け入れることになって…」

先生からの反応

- ・かわいらしくて読みやすい
- ・具体的な相談内容が書かれていて参考になる
- ・教員向けにもっと詳しい手引きも作ってほしい
- ・個別の相談(問合せ)
- ・保護者向けにコピーをして配布するなどの活用には至っていない

保護者からの反応

- ・ウチの学校にも来てもらえないか(問い合わせ)
- ・こんな道具は、どこに売ってるの？
- ・学校に来てるなんて知らなかった
ウチの学校にも来てるんですか？
- ・作業療法を受けたい(問合せ)

その他の反応

- ・学校の先生など、他職種からの講演依頼

今 後

- ・ハンドブックを使った勉強会の成果の把握と報告
- ・リーフレットの配布、広報活動
- ・支援システムづくり、改良

費用

作業療法士による広島市・県立特別支援学校支援ハンドブック
およびリーフレットの作成

広島県作業療法士会代表高木節
実施作成：OTスパイス代表小澤恭子

決定額580,000円

支出額435,483円(うち出版費332,750円)